

作業計画と実績

2017年8月1日現在

月日	曜日	予定 (7/20週間予定表より)	実績
7月17日	月	・Two-Phase Flow実験準備作業	・Two-Phase Flow実験準備作業
7月18日	火	・Two-Phase Flow実験準備作業	・Two-Phase Flow実験準備作業
7月19日	水	・ExHAM#1サンプル交換準備作業(#1-2回収)	・ExHAM#1サンプル交換準備作業(#1-2回収)
7月20日	木		
7月21日	金	Two-Phase Flow 実験	Two-Phase Flow 実験
7月22日	土		
7月23日	日		

日付は日本時間

- 略語
- Two-Phase Flow: 沸騰・二相流体ループを用いた気液界面形成と熱伝達特性  
(代表研究者: 大田治彦 九州大学教授)
  - Stem Cells: ES細胞を用いた宇宙環境が生殖細胞に及ぼす影響の研究  
(代表研究者: 森田隆 大阪市立大学教授)
  - Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響  
(代表研究者: 若山照彦 山梨大学教授)
  - Group Combustion: ランダム分散液滴群の燃え広がりと群燃焼発現メカニズムの解明  
(代表研究者: 三上真人 山口大学 大学院 創成科学研究科 教授)
  - Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
  - PS-TEPC: 位置有感生体組織等価比例計数箱による宇宙ステーション内での線量当量計測技術の確立  
(代表研究者: 佐々木慎一 高エネルギー加速器研究機構・放射線科学センター)
  - SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
  - MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
  - ExHAM: 簡易曝露実験装置
  - CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置

作業計画と実績

2017年8月1日現在

月日	曜日	予定 (7/20週間予定表より)		実績	
7月24日	月	Two-Phase Flow 実験	[継続実施中] ○船内利用 ・Stem Cells実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Space Pup実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Area PADLES ・PS-TEPC実験 ・Group Combustion実験	Two-Phase Flow 実験	[継続実施中] ○船内利用 ・Stem Cells実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Space Pup実験 (※冷凍・冷蔵庫 (MELFI)にて実施 中) ・Area PADLES ・PS-TEPC実験 ・Group Combustion実験
7月25日	火				
7月26日	水				
7月27日	木				
7月28日	金		○船外利用 ・宇宙環境計測 ミッション(SEDA- AP) ・全天のX線天体 の監視(MAXI) ・簡易曝露実験 装置(ExHAM)を 利用した曝露実 験 ・高エネルギー 電子、ガンマ線 パーストの観測 (CALET)	・ExHAM#1サンプル交換後作業(#1-3設置)	○船外利用 ・宇宙環境計測 ミッション(SEDA- AP) ・全天のX線天体 の監視(MAXI) ・簡易曝露実験 装置(ExHAM)を 利用した曝露実 験 ・高エネルギー 電子、ガンマ線 パーストの観測 (CALET)
7月29日	土				
7月30日	日				

日付は日本時間

- 略語
- Two-Phase Flow: 沸騰・二相流体ループを用いた気液界面形成と熱伝達特性  
(代表研究者:大田治彦 九州大学教授)
  - Stem Cells: ES細胞を用いた宇宙環境が生殖細胞に及ぼす影響の研究  
(代表研究者:森田隆 大阪市立大学教授)
  - Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響  
(代表研究者:若山照彦 山梨大学教授)
  - Area PADLES: 「きぼう」船内の宇宙放射線計測
  - PS-TEPC: 位置有感生体組織等価比例計数箱による宇宙ステーション内での線量当量計測技術の確立  
(代表研究者:佐々木慎一 高エネルギー加速器研究機構・放射線科学センター)
  - SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
  - MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
  - ExHAM: 簡易曝露実験装置
  - CALET: 高エネルギー電子・ガンマ線観測装置